

議会からの提言書

令和6年3月19日

小諸市議会

令和5年2月1日からスタートした第19次市議会では、議会基本条例第11条に規定されている「政策立案及び政策提言」を行う市議会を目指しております。

これまで、行政視察においては、委員会活動の一環として、所管する事務に関する様々な行政課題に対応するため、他の自治体等の先進的な取り組みを調査することにより、小諸市における課題解決や施策に反映させる目的で実施し、行政視察報告会を開催して完結しておりました。

令和5年度行政視察報告会は、12月定例会中の令和5年12月14日に開催し、職員の参加をいただき情報共有させていただきました。

このたび、本市議会では、添付しました「令和5年度小諸市議会行政視察報告書」を作成したことから、報告書の成果を精査し、本市発展の一助としていただくよう、次のとおり政策提言を取りまとめましたので、提出いたします。

令和6年3月19日

小諸市議会

議長 丸山正昭

◇ 目 次 ◇

- | | |
|----------|-------------------------------|
| (1) 政策提言 | 小諸市の部活動の地域移行に向けて
総務文教委員会 |
| (2) 政策提言 | 高齢者向け健康・生きがい就労に向けて
市民福祉委員会 |
| (3) 政策提言 | 小諸城址懐古園の国の名勝指定に向けて
産業建設委員会 |

* 添付資料;令和5年度小諸市議会行政視察報告書

1 政策提言

「小諸市の部活動の地域移行に向けて」

教職員の働き方改革の一環として中学校部活動の地域移行の推進がスポーツ庁の有識者会議で提言され、受皿となる地域スポーツ環境の構築や指導者の確保、学校や顧問との連携などが課題となっていることから、つくば市教育委員会で平成30年度から部活動の地域移行モデル事業を行っており、現状や課題等を参考に下記の提言を行う。

- ① 外部指導者の待遇条件の決定及び小諸市の補助についてルール作りをすること
- ② 学校と青少年を対象としたスポーツ団体等との連携及び仕組み作りの構築をすること
- ③ 外部指導者の発掘をし体制作りをすること

2 政策提言

「高齢者向け健康・生きがい就労の取組について」

高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせる地域づくりのため、元気な高齢者が生きがいをもって活動できる場を提供できる『(仮称)健康・生きがい就労事業』として、高齢者に対し、「社会参加」「生きがいづくり」「介護予防」等を目的に、3 か月程度を単位とする「プチ就労(短期間・短時間)制度」の事業化を提言する。

その具体的手法として

- ①常勤就労を退いた元気な高齢者から、簡易な就労を希望する参加者を募集する
- ②プチ就労についての説明会を実施する
- ③参加者の中からリーダー的な「キーパーソン」を発掘する
- ④制度をつくり、キーパーソンを中心に元気な高齢者の就労を支援する(最終形は「民間施設と当該市民の雇用契約」)

3 政策提言

「小諸城址懐古園の国の名勝指定に向けて」

昨年10月に沖縄県那覇市の4年前に焼失した首里城の復旧工事の状況を視察した。

この工事にかかる費用は120億円であるが、首里城は国宝であり世界遺産でもあったことから、国からの資金70億円とクラウドファンディングで集まった50億円余りですべての費用を賄うことができるということであり、国の文化財としての指定を受けておくことの重要性を再認識した。

また、本年正月に発生した能登半島地震の際は、本市においても震度4が観測され小諸城址の石垣への影響が懸念される。

このような状況を踏まえ、小諸城址懐古園の国の名勝指定に向けた取組を加速することを提言する。